



KURODA Akira
黒田 彰
教授

教授

科研費種別

基盤研究B

研究課題

古代幼学書の文化史的研究

研究期間

2015-2017

研究目的

日中の古典文学の基礎を形成したものの一つに、幼学というものがあります。幼学とは、今日の初等教育に当たるもので、文字を覚え、言葉を学ぶ、要は読み書きの習得を目的としていました。その現在に伝わるものが幼学書ですが、皆さんは幼稚園から小学一、二年生の頃の教科書やノートを持っていらっしゃいますか？殆どの方は、持っていませんでしょう。そう、幼学書は実用書なので、習得してしまえば保存する必要がないのです。ですから、今日まで伝わる幼学書は、極端に少ないのです。しかし、子どもの時に覚えた事柄は、なかなか忘れないので、文学が作られる時の基盤をなすものとなるのです。

私たちの科研のテーマは、そういった幼学書の一つ、孝の大切さを教える孝子伝を取り上げたものでした。孝子伝は、親や兄弟、家族の大切さを説く、孝経という儒教書を子ども達に理解させるべく、具体的な孝行の物語を集めた書物です。ところが、古く中国に十種類以上あつた孝子伝は、本国ではことごとく滅亡し(散逸する

といいます)、目下日本に伝えられた二種類の孝子伝だけが、書物としての孝子伝の面影を今に伝える資料となっています。私たちの研究目的は、その孝子伝を全世界に紹介し、その様々な影響を調べるとともに、特に文学に対する孝子伝の影響がどのように日本文学の形成に与ったか、という点を明らかにすることです。

研究組織 (幼学の会メンバー)

| 氏名 | 所属 |
|-------|------------------|
| 黒田 彰 | 佛教大学、文学部、教授 |
| 後藤 昭雄 | 成城大学、文芸学部、教授 |
| 東野 治之 | 奈良大学、文学部、名誉教授 |
| 三木 雅博 | 梅花女子大学、文化表現学部、教授 |
| 山崎 誠 | 国文学研究資料館、教授 |

研究内容

幼学の会は、『孝子伝注解』(汲古書院、2003年)を公刊し、日本伝存の孝子伝本文を世界に向けて発信する等(近く中国語版が北京大学より刊行される予定)、孝子伝本文を検討しながら、孝子伝図の蒐集に努めてきました。孝子伝図とは、孝子伝の物語を画像化したもので、後漢時代からの遺品が数多く残されています。私達が気付いたのは、これまで孝子伝図というものが体系的に研究されたことがなく(孝子伝本文が滅びてしまっていたから)、しかも、孝子伝図が孝子伝本文の未知の要素の数々を含んでいるということです。例えば母を亡くした丁蘭という孝

子が、母親の木像を作って仕えるという物語がありますが、後漢時代の丁蘭図は、父親の木像を作ったとし、そのような孝子伝本文は現存していません。つまり、その図像は現存孝子伝本文より古い、元の丁蘭の物語を描き伝えているのです。

科研による研究内容は、その過半が現存する孝子伝図の蒐集と整理に充てられ、調査地域は中国はもちろん、遠く米国にも及びました。同時に私達の研究は、中国や米国などの研究者と連携する、国際的な共同研究の色彩を強く持ってきたのです。



孝子伝図輯録6P下
丁蘭図



模写図輯録 6P下
丁蘭図模写図

研究結果

科研によるいくつかの成果の中から、一点ここで紹介します。それは、2006-2008年度の成果報告書『和林格爾漢墓壁画孝子伝図輯録』(中国内蒙古自治区文物考古研究所、幼学の会編、2009年)と2010-2012年度の成果報告書『和林格爾漢墓壁画孝子伝図模写図輯録』(中国内蒙古自治区文物考古研究所、中国内蒙古博物院、幼学の会編、2014年)のことです。

さて、孝子伝図の最高のもとは、後漢武梁祠画像石で、十七図もの孝子伝図を収め、古く体系的である点、当該墓(12図を収める)のみが唯一、それに匹敵しています。ところが、1971年9月に発見された当該墓のそれは、これまで図像の公刊されたことがありませんでした。このことは、研究上の大きな課題でしたが、2004年に訪中した際、陳永志先生(当時文物考古研究所の副所長)と会う事が叶い、陳先生も該墓壁画の紹介を考えておられたところから、幸いにも日中共同研究が実現し、発見以来40年近くを

経て、孝子伝図を始めとする全図像の精細なカラー図版を刊行することが出来ました。ところで、該墓壁画は、発見されてすぐ、実物大の全図像の正確な模写図が作成され、こちらは内蒙古博物院に保管されています。そこで原図に続き、模写図の公刊を企てたのが、二冊目の報告書となり、両書を対照させれば、原図と模写図が一目瞭然となるよう配慮してあります。

本報告書は、日本と中国の二国間、また、二つの機関とわが幼学の会の共同研究となり、言語、習慣、文化の違いから、国際的な共同研究の難しさ、しかし、それ故に種々の難関を通過しての結果の素晴らしさを知る機会ともなりました(科研を管理する佛大当局には本当にお世話になりました)。この報告書は、幼学の会の誇りであり、たまたま代表を務めた私など、21世紀の日本における、国際交流の手本となろうかと自負しているところです。

孝治天下：古代孝道文化で画像芸術
研究会

- 一、時間：2016年8月26日 14:30-17:30
- 二、地点：深圳博物館歴史民俗館北二樓會議室
- 三、主持人：深圳博物館館長、深圳市非遺保護中心主任 叶楊
- 四、議題：
 - 1、日本佛大教授黒田彰先生发言
題目：《董勳圖考——吳氏藏北魏石床（兩面）孝子伝図》
 - 2、北京大学考古文博学院院长、教授 魏先生发言
題目：《山西高平开化寺宋壁画中的孝道图像》
 - 3、深圳市文物考古鉴定所所长、研究员 任志承先生发言
題目：《中国花瓶的早期形式——以石刻图像为中心》
 - 4、自由发言讨论

古代孝道文化で画像芸術
研究会プログラム

学术研讨会深博举行



【深圳商報訊】(記者 葛煥文 韓繼國)《孝治天下：古代孝道文化で画像芸術》学术研讨会近日在深圳博物館舉行。日本佛大漢學家黒田彰、北京大學考古文博學院院長魏先生、深圳博物館館長任志承分別就各自研究領域中有关孝文化与文物图像之间的关系主题发言。

本次研讨会由深圳博物館與北京大學考古文博學院聯合主辦、金石藝術博物館、深圳金石文化資產管理有限公司協辦。值得一提的是，金石藝術博物館是在2015年2月通過多輪審核(博物館條例)後，深圳首批獲得省文物局正式批准登記立案的“非國有”博物館。

研討會上，日本漢學家黒田彰領銜為《董勳圖考——吳氏藏北魏石床(兩面)孝子伝図》主題演講。這位四年間六度訪深的學者，正是於2011年5月18日在《永遠的北朝——深圳博物館北朝石刻藝術展》中展出的“新發現孝子伝圖石床”而來。他認為，在《永遠的北朝——深圳博物館北朝石刻藝術展》中展出的孝子伝圖石床，是首次發現並僅存於中國內地的“董勳傳圖”，在此之前所知三個孝子重歸傳圖都在美國的博物館(分別是美國波士頓美術館、美國納爾遜-阿特金斯、美國佛吉尼亞博物館)。因此亦足珍貴。此外，金石藝術博物館所藏“北朝孝子系列董勳傳圖”，從內容上看相當於美國納爾遜-阿特金斯藝術博物館藏北朝石床的“董勳傳圖”的一部分，不僅題材內容全面，題記還是日本所傳明本《孝子伝》文本的直接引用，傳圖內容與日本所傳明本《孝子伝》文本有精確的對應關係，並採用了“穿洞開圖”的藝術手法展現了孝子董勳在事母至孝中一些特殊發展的情節，是前所未見的珍貴資料，將為我們研究北朝《孝子伝》帶來全新的視角。對於《孝子伝》的研究史也具有不可估量的深遠意義。

古代孝道文化で画像芸術研究会の成果が
新聞記事になりました▼▶

深博举办古代孝道文化
与画像芸術研讨会

深圳特区報訊(記者 劉莎莎) 8月26日下午，深圳博物館舉辦了一場名為“孝治天下：古代孝道文化与画像芸術”的学术研讨会。

研讨会由深圳博物館館長、研究员叶楊主持，参加主题演讲的三位嘉宾分别是来自日本佛大漢學的著名漢學家黒田彰教授、北京大學考古文博學院院長魏先生、深圳考古鉴定所所长任志承先生。三位重量級專家分別就各自研究領域中有关孝文化与文物图像之間的关系发表了精彩的观点。

黒田彰先生发言的主题是“董勳圖考——吳氏藏北魏石床(兩面)孝子伝図”。黒田彰教授認為，在《永遠的北朝——深圳博物館北朝石刻藝術展》中展出的孝子伝圖石床，是首次發現並僅存於中國內地的“董勳傳圖”，在此之前所知三個孝子重歸傳圖都在美國的博物館(分別是美國波士頓美術館、美國納爾遜-阿特金斯、美國佛吉尼亞博物館)，亦足珍貴。

深圳特区報訊

深圳商報訊

専門分野

日本文学

科学研究費採択

基盤研究B 古代幼学書の総合的研究 2010-2012
基盤研究B 古代幼学書の発展的研究 2006-2008
基盤研究B 古代幼学書の基礎的研究 2003-2005
特定領域研究 日中幼学書の比較文化的研究 2001-2002

最近の業績

- ・董勳図考(二)——吳氏藏北魏石床の出現——『佛大文学部論集』102号 2018年3月
- ・翟門生覚書——吳氏藏東魏武定元年翟門生石床について——『京都語文』25号 2017年11月
- ・『黒田彰藏平仮名本三國伝記 翻刻篇』/幼学の会 平成29年度科学研究費基盤研究(B)成果報告書、2017年5月
- ・吳氏藏東魏武定元年翟門生石床について——翟門生石床の孝子伝図——『佛大文学部論集』101号 2017年3月
- ・蔡順、丁蘭、韓伯瑜図考——吳氏藏北魏石床(二面)の連れの一面の出現——『国文学』2017年3月



<http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/teachers/detail/22/>

